

STAGE+を楽しむ(128)(HP 収載)
—ペーター・シュライアーのベートーヴェン歌曲—

1. 始めに

前報(127)に引き続き、STAGE+のペーター・シュライアーのベートーヴェン歌曲の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ペーター・シュライアーのベートーヴェン歌曲の演奏を選びました。

名手ペーター・シュライアーが歌うベートーヴェン歌曲

ノーマン・シェトラーと共に

収録日: 1987年9月30日

旧東ドイツ出身。1960年代にザルツブルク音楽祭やウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場などで当代最高のリリック・テナーとして名声を確立し、ドイツ・リート分野でも高い評価を得たシュライアーによる、ベートーヴェンの歌曲だけを取りあげたリサイタルの映像をお届けします。彼が、理想的な形で自分の歌に応えるピアニストと称えたシェトラーとの息のあった共演で、ウィーン初期に作曲された人気曲《アデライーデ》を始めとする、ロマン溢れる“楽聖”の歌の世界をご堪能ください。

ソリスト:

Norman Shelter (ピアノ)、ペーター・シュライアー (テノール)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

《アデライーデ》 op. 46

8つの歌曲 op. 52 より第4曲: 5月の歌

ゲーテの詩による3つの歌曲 op. 83

6つの歌曲 op. 75 より第2曲: 新しい恋、新しい生

《希望に寄せて》 op. 94

《愛されない男のため息と愛の答え》 WoO 118

《遠い国からの歌》 WoO 137

《うずらの鳴き声》 WoO 129

《あきらめ》 WoO 149

《愛する男》 WoO 139

6つの歌曲 op. 75 より第6曲: 満足した男

《追想》 WoO 136

《優しい愛（君を愛す）》 WoO 123

連作歌曲《遙かなる恋人に》 op. 98

6つの歌曲 op. 48 より第1曲： 願い

アリエッタ《接吻》 op. 128



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

テノールのペーター・シュライアーはアナログでお馴染みですが、映像付きの収録は初めてです。

収録は小ホールのように、ピアノはノーマン・シェトラーで、そもそもベートーヴェンがこのような歌曲を作曲していることは知りませんでした。

どの曲も初めて聴くものと思いつつ聴いていたら、6曲目の《愛されない男のため息と愛の答え》は、合唱幻想曲の合唱のパートの旋律と同じように感じました。

最初から最後までシュライアーの力強い歌唱とシェトラーの輝かしいピアノは、とても1987年の収録とは思えないほど、リアルなライブ感を感じさせてくれます。



4. まとめ

LAN アキュライザーと Crstal EpL の効果により、とても 1987 年の収録とは思えないほど、シュライヤーの力強い歌唱とシェトラの輝かしいピアノのリアルなライブ感を感じさせてくれます。

以上